

2011 年度緩和ケア認定看護師養成事業実施報告

## 【認定看護師教育課程緩和ケア分野修了後の活動について】

○緩和ケア認定看護師となり、地域に密着した緩和ケアを広めて、少しでも在宅で過ごせるようにしていきたいという思いのもと、教育課程を修了し、早半年が経ちました。現在の活動は、院内での緩和ケアチームの基礎作りを、手探りでやっています。また外来化学療法を行っている患者や、外来放射線治療を行っている患者との関わりを週1回もてるようにしています。患者さんと関わる中で、治療の困難さや不安など誰かに聞いて欲しかったという思いをつくづく感じます。病棟と兼務なので、自分のペースでゆっくりですが、焦らずスタッフといい方向へいけたらと思っています。こうやって自分の夢に近づくことが出来たのも、日本財団の方の支援があったからです。これを無駄にしないように、夢が可能となるようにしていきたいです。ありがとうございました。

健康保険南海病院 緩和ケア認定看護師 安藤和子

○緩和ケア認定看護師としてスタートラインに立ったばかりですが、今月から緩和ケア外来を本格的に立ち上げることになりました。「早い時期からの緩和ケアの提供」を目指し、主に外来化学療法室と連携し、苦痛を抱えている患者さんの力になればと思っています。

緩和ケアの普及の為に支援してくださっている日本財団の皆様への恩返しは、臨床を通して緩和ケアを広げていくことだと心に刻み、今後も活動して行きたいと思います。

加古川西市民病院 緩和ケア認定看護師 矢野奈緒

○認定審査に無事合格することができ、現在は緩和ケア認定看護師としての自分の役割を模索しています。依然として右も左も分かりませんが、6ヶ月の認定看護師教育課程で学んだ『その人らしく生きることを支える』という信念を胸に、『今自分にできること』に精一杯取り組み、緩和ケア認定看護師として充実した毎日を送っています。「緩和ケア認定看護師になる」という人生の分岐点を支えていただいた日本財団へ感謝の気持ちで一杯です。

熊本市市民病院 緩和ケア認定看護師 緒方みか

○私は昨年、久留米大学認定看護師教育課程を修了後、緩和ケア認定看護師候補者として病棟勤務を行い、主に「実践」を中心に緩和ケアチーム活動などを行いながら5月の認定審査へ向けての学習をすすめていました。結果は認定審査に無事に合格することができ、改めて認定看護師としての責任の重さを実感しています。また、勤務する病院では認定看護師第1号となるため、今は認定看護師の認知度を高めるための病院内での広報活動や地域へ向けての広報を行いながら、看護部と相談しながら活動の拠点づくりを行っています。また、所属する病棟内においては直接看護を提供しながら、入院治療期から終末期の患者様・ご家族様をトータルペインの視点で捉え、他職種と協働しながら苦痛緩和に努めています。一人ひとりの患者さまに寄り添っているケアを実践できるように活動を行っていきたいと思っています。

日本財団の皆様方からご支援をいただいたことに心より感謝いたします。

緩和ケア認定看護師 神田尚代

○緩和ケア認定看護師教育過程修了後の活動として、院内看護師を対象に認定看護師教育過程での学びについて伝達講習を行い、がん性疼痛をテーマに2回に分けて講義を実施しました。また、がん患者の担当看護師として実践しやすい環境を整えていただき、必要時は朝のミニカンファレンスでがん患者の症例検討を行っています。緩和ケアチームの活動では、週1回行われている緩和ケア回診にできるだけ参加し、意見交換や情報提供などを行っています。今後認定看護師として活動する嬉しさ、不安など様々な思いを胸に活動を行っています。がん患者さんとご家族がその人らしく過ごすことができるようサポートしていけたらと思っています。6か月間の認定看護師教育過程を修了するにあたり、日本財団よりご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 緩和ケア認定看護師 松下美佐子

○私は、現在、病棟に所属しながら、院内を横断的に活動しており、所属以外の病棟や外来化学療法室など依頼があれば訪問しています。そして緩和ケアチーム活動として、週に1回緩和ケアカンファレンスを行っています。また在宅緩和ケア検討会を行い、関連職種の方と連携を図るなど、緩和ケアを受

けている患者さんと家族の QOL 向上に努めています。今回研修を受けるにあたりご支援いただいた日本財団の方々に深く感謝いたします。

水俣市立総合医療センター 緩和ケア認定看護師 佐々木良子

○認定看護師教育課程を修了し職場復帰した 12 月に、緩和ケア推進活動の一環として、緩和ケア委員会が発足されました。当院は 164 床の小規模な急性期病院であるため、緩和ケアへの取り組みが遅れているのが現状です。

委員会の発足は、当院の緩和ケア推進活動の先駆けであり、今後しっかりとした体制を整え患者さんやご家族に安心できる看護・環境を提供していきたいと考えています。

認定看護師を取得し、スタートラインにたったばかりでまだまだ活動と言えるものは行えていませんが、一歩ずつでも前に進むきっかけに繋がったのは、日本財団の皆様のご支援があったからと感謝いたしております。本当にありがとうございました。

宗像医師会病院 緩和ケア認定看護師 元嶋のぞみ